

「オンライン国会」議論

緊急事態条項は温度差

今国会初の憲法審



衆院憲法審査会の自由討議に臨む森英介会長（前列左から2人目）（10日午前、国会で）

今国会で初めての衆院憲法審査会が10日、開かれ、与野党は自由討議で「オンライン国会」の是非を巡って意見を交わした。自民党は導入を検討しつつ、憲法に緊急事態条項を創設するための議論を早く進めるべきだと主張した。立憲民主党はオンライン審議の議論を優先すべきだと訴えた。

「憲法改正をいよいよ項目ごと具体的に、かつ本格的に深めていく時期に来ている」

与党筆頭幹事を務める自民党の新藤義孝氏は自由討議でこう切り出し、「緊急事態対応」の議論を急ぐべきだとの考えを示した。

その一環として、新藤氏は新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、オンライン審議は憲法の解釈で可能だ

公明、日本維新の会、国民民主党の3党はオンライン審議は憲法の解釈で可能だ

立民の奥野総一郎氏（野党筆頭幹事）も、国会議員に感染者が相次いでいることから、「解釈により、すべてにでもできるようにすべきだ」と賛同した。ただ、改憲と絡めた議論には反対し、有識者らを呼んで丁寧な議論する必要がある」とくぎを刺した。

オンライン審議を巡る議論を先行させ、改憲論議に立ち入ることは避けたい考えだ。共産党の赤嶺政賢氏は「審査会は動かすべきではない」と主張した。

一方、オンライン審議を巡り、改憲に前向きな日本維新の会の馬場伸幸共同代表は審査会に小委員会を設け、早急に結論を出すよう提案した。国民民主党もこの場で結論を得てはどうか（玉木代表）と踏み込んだ。

立民はこれまで、2022年度予算案の審議中に憲法審査会を開くことを拒んできたが、維新や国民などの要求を受け、開催容認に転じた。審査会が始動した11年以降の通常国会では最速の開催となっただけに、

オンラインでの国会審議	
自民党	議員がリモート参加できるのか様々な検討が必要だ（新藤義孝氏）
公明党	例外的に開催することは憲法上も許容される（北側一雄氏）
立憲民主党	オンライン審議の議論を優先すべきだ（奥野総一郎氏）
日本維新の会	憲法審に具体的な制度設計をする小委員会を設置すべきだ（馬場伸幸氏）
国民民主党	（オンライン審議は可能だと）この場で結論を得てはどうか（玉木雄一郎氏）
今後の憲法審査会の進め方	
自民	週1回の定例日に確実に議論していくことは当然だ（柴山昌彦氏）
立民	予算案審議中に頻繁に開催されることは厳に慎むべきだ（道下大樹氏）
維新	定例日に開催するかしないか駆け引きが繰り返されること自体が異常だ（馬場氏）
共産党	審査会は動かすべきではない（赤嶺政賢氏）

◆衆院憲法審査会での各党の主な発言